

日本公衆電話会山形県分会（岡部信之県分会長）が7月9日、町教育委員会を訪れ、事故や犯罪、災害から身を守るためのポイントをまとめた「こども手帳」300部と電子版20部を寄贈されました。

受け取った岸教育長は「総合的な学習や家庭での指導に活用したい」と謝辞を述べました。手帳は4年生以上の町内小中学生に配布予定。指導を通して、いざという時に行動できる子どもたちを育てます。



森谷孝司県副分会長（左）から岸隆一教育長（右）に手渡された「こども手帳」

日

本公衆電話会が寄贈  
小中学生に「こども手帳」



永年にわたる積極的な活動が評価され、防犯功労者を受賞された下野明地区防犯連絡員の丹政一さん

6月25日、最上地区防犯協会連合会総会において、防犯功労者の表彰が行われ、金山町防犯協会の丹政一さん（下野明）が受賞されました。

丹さんは、地区防犯連絡員として平成21年4月から活動。防犯パトロールや防犯診断、青少年健全育成活動などに、永年にわたり積極的に取り組んだ事が高く評価されました。これからも地域の模範として、防犯活動へご尽力いただきます。

優

良防犯功労者  
丹政一さんが受賞

保 護司がメッセージ伝達  
社会を明るくする運動



(写真右から) 星川忠一さん、栗田一直さん、三上重光さん、関喜美子さん、松田順一さん

7月1日から7月31日にかけて「第68回社会を明るくする運動」が実施されました。  
犯罪のない社会を目指すこの取り組みに先がけ、7月2日には、金山町の5名の保護司が鈴木町長を訪問。運動への協力依頼とともに、「犯罪や非行からの立ち直りに取り組む人たちを再び地域に受け入れ、仕事や居場所を確保することが重要だ」といった内閣総理大臣からのメッセージを伝達しました。

人 権擁護委員に再委嘱  
柴田幸雄さんが3期目



平成24年7月から委嘱され、3期目となる柴田さん。2期を務めあげた際には感謝状が贈呈された

柴田幸雄さん（下野明）が、平成30年7月1日付けで、法務大臣から人権擁護委員に再委嘱されました。  
人権擁護委員が主に実施するのが啓発活動や相談活動。小中学生とともに取り組む「人権の花運動」など、地域住民から人権について関心を持ってもらえるような活動を行っています。また、法務局や公共施設などで、皆さんの人権相談を受ける活動も行っています。これからもよろしく願います。

◎株式会社新庄・鈴木・柴田組



6月30日、運搬車両が頻繁に通行する有屋地域内を中心に清掃ボランティアを実施しました。4回目となる今年。参加した20名の社員の皆さんは「日頃お世話になっている地域への恩返し。来年も継続して実施したい」と話していました。

◎白岩土木建築株式会社



6月30日、社屋裏の白山神社（羽場）で草刈りや清掃のボランティア作業を行いました。約40名の社員が参加し、参道やお宮周辺をきれいに整備。社会貢献として行っているこの活動を、これからも継続したいと白岩社長は話していました。

◎星川建設株式会社・有限会社星輪



7月7日、2社から約40名が参加し、ボランティア活動を行いました。町道のカーブミラー磨きや草刈り、清掃に加え、昨年に引き続き十日町地区の山車小屋を設置。今年は新たに山崎地区の山車小屋を設置しました。

建 設業各社がボランティア  
「地域に恩返しをしたい」

夏季安全大会にあわせて、町内の建設業各社が、草刈りや清掃などのボランティア活動を実施しました。  
各社とも「普段からお世話になっている地域に恩返しをしたい」という思いから。中には15年以上も前から活動している会社もあります。昨年からは、金山まつりを盛り上げるために、若連の負担を少しでも減らしたいと、山車小屋設置のボランティアも実施されています。  
町内の美化となることはもちろん、町の活性化にもつながる奉仕活動。各社ともにこれからも継続して活動されるようです。